

NO-MAが大切にしていること

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAは2004年6月、「ボーダレス」という言葉に思いを込めて開館しました。

ボーダレス・アートは、障害のある人々による造形表現や現代アートなど、

様々な表現を分け隔てなく紹介していくこととする、館の展示コンセプトです。

NO-MAは、社会福祉法人が運営する美術館ですが、「障害のある人々のため」という限定的な役割を担うのではなく、

訪れた人々に「芸術」とは何か、「表現」とは何かを考えてもらえるような場であり続けたいと考えています。

ボーダレス・アートという視座を通じて、人の表現が持つ根源的な魅力を伝えていく美術館です。

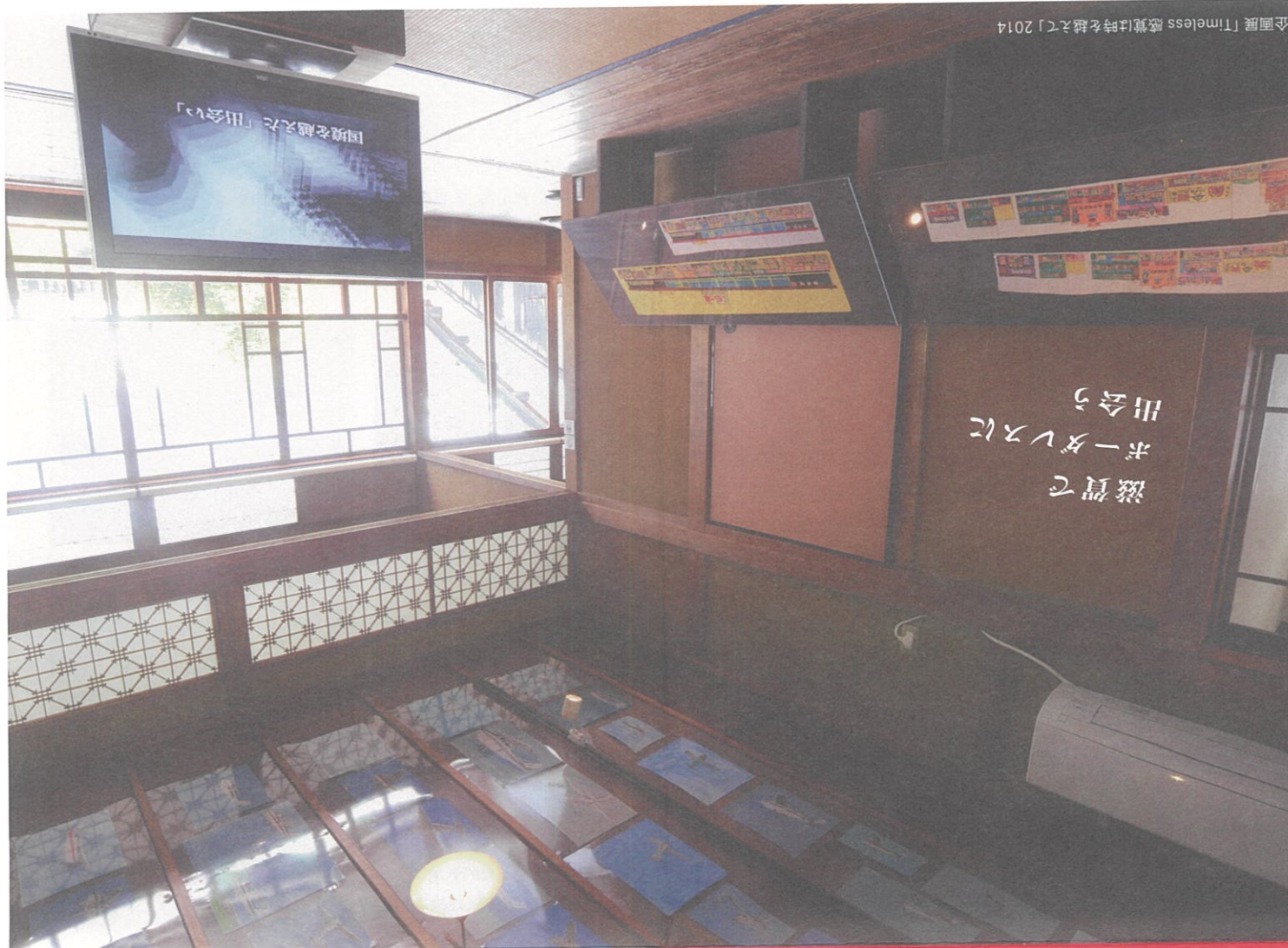
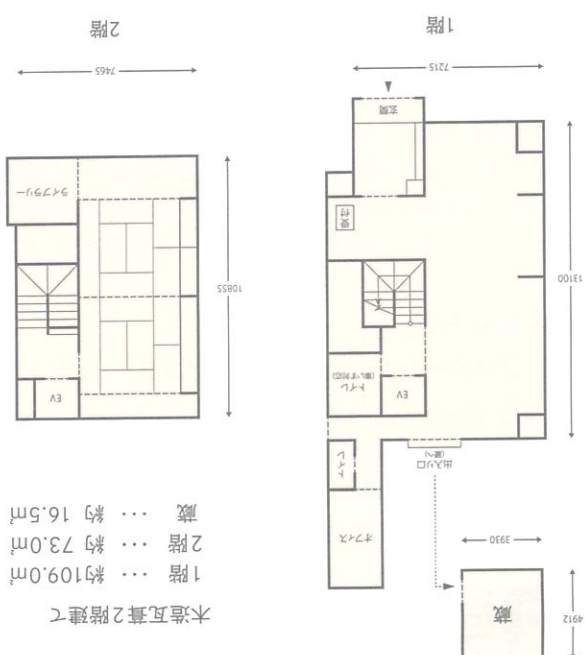
貸館のご利用案内

企画展開催以外の期間は貸館として会場の提供も行っています。制作活動を行っている方々の発表の場として、ぜひご利用ください。

《使用単位》

火曜日から日曜日までの1週間(6日間)を基本単位とします。

※使用単位には展覧会の搬入・設置、撤出・撤収の日は含まれません。



企画展「Timeless 感覚は時を越えて」2014

重要伝統的建造物群保存地区にたたくむ 昭和初期の町屋をリノベーションした美術館 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

滋賀県では、「日本の障害者福祉の父」と呼ばれる糸賀一雄氏や池田太郎氏、田村一二氏らを中心に、1946年、近江学園が創設されました。学園では、窯業科の作業に端を発して粘土を利用した造形活動が先駆的に始められ、その思想と取り組みは、県内の福祉施設に受け継がれていきます。

さらに50年以上にわたり各所で発展し、「障害のある人の作品を常設できる場を」というニーズが県全体に高まっていきました。そして展示空間の整備について検討を進める中、近江八幡の町屋「野間邸」と出会い、2004年に「ボーダレス・アートギャラリーNO-MA」が誕生。2007年には博物館相当施設の承認を受け、「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」となりました。

- 開館時間** ■ 11:00-17:00
- 休館日** ■ 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、展示替え期間、年末年始
- 入館料** ■ 一般200~300円* 高大生150~250円*
(20名以上の団体は50円引き)
中学生以下・障害のある方と付添者1名無料
※入館料は展覧会ごとに異なります。
- 設備** ■ バリアフリー対応
(多機能トイレ・エレベーター・専用駐車場あり)

団体見学・校外学習のご案内

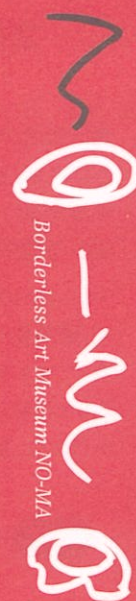
20名様以上のグループは団体割引が適用となります。また、学校教育活動を目的にご来館のお客さまには、当館の対応が可能な場合に限り、作品鑑賞プログラムのコーディネートもお引き受けしています。ぜひ、魅力あふれるアートとの出会いの場として、NO-MAをご活用ください。
※団体見学の場合、スムーズにご鑑賞いただくため、事前申込をおすすめしています。

アクセス

- 電車・バスをご利用の場合**
JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]→乗車約10分→バス停[大杉町]下車
→徒歩約8分→NO-MA
- 自家用車をご利用の場合**
名神高速道路 竜王IC→約25分→NO-MA
※駐車場に限りがありますので満車の際は市営駐車場等をご利用ください。
- レンタサイクルをご利用の場合**
駅リンク近江八幡店(JR琵琶湖線 近江八幡駅北口)
→自転車約15分→NO-MA

お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA
〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16(旧野間邸)
TEL/FAX 0748-36-5018 ☎11:00-17:00 ㊿月曜日
E-mail no-ma@lake.ocn.ne.jp URL http://no-ma.jp
運営:社会福祉法人グロー(GLOW)~生きることが光になる~



Borderless Art Museum NO-MA

滋賀でボーダレスに出会う

ボーダレス・アートミュージアム
NO-MA



地域交流

展覧会と連動したイベントを実施しています。地域の豊かな環境をフィールドとしながら、まち歩きやワークショップ、鑑賞を組み合わせた様々なプログラムを企画し、地域の方々との関係性を大切に育んでいます。また、教育機関と連携しながら、出張授業や館を活用したワークショップを実施したり、ニューズレター「野間の間」を地域の方々に向け、定期的に発行するなど、NO-MAや作品の魅力を多くの方々へ伝えていく取り組みも行っています。



調査・研究

これまで、全国の都道府県及びアジア地域を対象に、368名(2018年4月現在)の作品調査を行ってきました。調査は、NO-MAの学芸員の他、福祉関係者、美術関係者にも調査員として協力いただき、これまでの調査から「アール・ブリュット」として注目を集める作品も出てきています。新たな作者に出会い、アーカイブすることで、研究の基礎資料や開催する展覧会に役立てるとともに、関係者同士のネットワークが充実していくことを目的に展開しています。

滋賀県施設・学校合同企画展

ing... 障害のある人の進行形



本展は、県内の福祉施設や特別支援学校等とNO-MAが実行委員会を組織し、各施設・学校等から作品を持ち寄り企画する展覧会で、開館以来、毎年開催しています。障害のある人の作品の発信、造形活動を担当する職員同士の交流、造形活動支援の技術向上も目的としています。

糸賀一雄記念賞音楽祭



糸賀一雄記念賞の受賞者をお祝いすることを目的に、県内で音楽やダンスなどの表現活動をする障害のある人や支援者等、約200人が出演する音楽祭です。国内外で活躍する音楽家等とともに、ボーダレスで魅力あふれる舞台を毎年創っています。

アール・ブリュット インフォメーション&サポートセンター(略称:アイサ)

アイサは、障害のある作者やその家族、支援者等からの障害者の芸術文化活動に関する相談に対応する窓口です。作者の権利が保護されるための助言や、作品に関わる人同士が信頼関係をもってつながることができるよう支援しています。



TEL 0748-46-8118(平日9:00-17:00)
FAX 0748-46-8228
Email artbrut_info@glow.or.jp

Art Brut アール・ブリュットとは

直訳すると「(生の)芸術」となるフランス語です。画家ジャン・デュビュッフェが1945年に考案した言葉で、自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術を指します。

海外の美術館との連携

2006年から、アール・ブリュット・コレクション(スイス・ローザンヌ)との連携企画に取り組み、「JAPON」展(2008~2009)が開催されました。本展は「アール・ブリュット/交差する魂」展(2008、滋賀)として、日本国内も巡回し、日本のアール・ブリュットが注目を集めるきっかけとなりました。その後、アル・サン・ピエール美術館(フランス・パリ)の申し入れにより、日本の作者63人が出展、12万の来場者を動員した展覧会「アール・ブリュット・ジャポネ」(2010~2011)が開催されました。海外からの日本のアール・ブリュットへの関心は一過性に留まらず、2017~2018年には国立現代芸術センター リュー・ユニック(フランス・ナント)でも日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展が開催されるなど、年ごとに広がりを見せながら世界へと発信され続けています。



文化と風情息づく町“近江八幡”

豊臣秀次が築いた城下町を基礎とし、商業都市へと発展した近江八幡。近江商人の発祥の地として知られ、趣ある新町通り、永原町通り、八幡堀沿いの町並みや日牟禮八幡宮境内地は、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。また、多くの近代建築作品を遺したウィリアム・メレル・ヴォーリズ(建築家/1880~1964)が、青年期以降の生涯を過ごした地としても知られ、約20軒のヴォーリズ建築が現存しています。近年は、美しい町並みを伝えていくため、市をあげて町屋再生が行われ、景観を活かしたカフェも増えています。

ご案内 近江八幡おもてなしパスポート(1,500円)

おもてなしパスポートのご提示で、NO-MAに加え①~⑤の施設が楽しめます。また、近江八幡市内の27店舗で割引などの特典を受けることができます。

販売
お問合せ
近江八幡駅北口観光案内所
☎ 0748-33-6061
白雲館(白雲館観光案内所)
☎ 0748-32-7003

おもてなしパスポートは、市立資料館、旧西川家住宅、旧伴家住宅、かわらミュージアムでもご購入いただけます。



① 市立資料館

【郷土資料館】

近江商人・西村太郎右衛門邸跡に開設。市内の考古・民俗などが展示され、八幡商人のふるさととしての歴史を伝えてくれます。

☎9:00-16:30(最終入館16:00)
☾月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始
※5・6・10・11月は無休
☎0748-32-7048 ①一般300円、小中生150円

【歴史民俗資料館】

江戸末期の商家を利用した資料館。近江商家の帳場風景や生活様式など面影をそのまま残し、多くの民俗資料を公開。

② 旧西川家住宅

畳表、蚊帳などを広く扱った西川家。国の重要文化財に指定されています。近江商家の往時をしのぶことができます。

☎9:00-16:30(最終入館16:00)
☾月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始 ※5・6・10・11月は無休
☎0748-32-7048 ②一般300円、小中生150円

③ 旧伴家住宅

伴庄右衛門の商家で屋号は「扇屋」。明治に入り小学校・役場・図書館と変遷を辿った歴史遺産で、左義長まつりに使われる山車は必見。

☎9:00-17:00(最終入館16:30)
☾月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※2・3・4・5・6・10・11月は無休
☎0748-32-1877 ③一般400円、小中生250円

④ 八幡山ロープウェー

山麓から約4分の空中散歩を楽しめます。四季さまざまな表情を変える山々と近江八幡の大パノラマを一望できます。

☎9:00-17:00(上り最終16:30)
☾年中無休
☎0748-32-0303
④おとな880円、子ども440円 ※いずれも往復料金

⑤ かわらミュージアム

建物全体が展示物ともいえる瓦づくしの建築です。館には地場産業である八幡瓦の技術や知恵がたくさん詰まっています。

☎9:00-17:00(最終入館16:30)
☾月曜(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始 ※5・6・10・11月は無休
☎0748-33-8567 ⑤一般300円、小中生200円

※団体料金等その他詳細については、各施設にお問い合わせください。